

# 9月定例議会

## 補正予算と決算の審査 条例改正は提案なし!



稲刈り後のたんぼを見ていると寂しさを覚える。時期外れな報告ですが、9月議会について報告をする。

議会日程は、9月3日から9月29日までと長期間だったが、角館のおまつりや5連休などで、休会が多く実質審議したのは、本会議5日、企業会計決算委員会1日、常任委員会1日と合計7日間だった。

### 補正予算総額3億6千万円を追加!

補正予算の財源は、地方交付税1億1,200万円。国・県支出金が7,600万円。繰越金6,000万円。市債6,500万円が主である。補正予算の使い道の主なものは次の通りである。

総務費3,150万円は、内陸線関連予算の「地方の元気再生事業」に1,952万円。地デジ対応予算で「辺地共聴施設整備補助」に257万円。民生費3,505万円の内訳は、子育て応援特別手当事業2,260万円

が主である。

衛生費は市立角館病院の大腸がん予防事業に1,820万円が繰出される。

労働費は1,330万円が補正された。緊急雇用対策関係事業費用やふるさと雇用対策費など6対策事業費に充てる。

農林水産費はわずか397万円の措置で、農業振興と林業振興費用である。

商工費645万円は、商工振興費14万円、観光施設整備321万円である。商工振興を図る予算はいつも乏しい。

観光施設整備は県事業

の玉川温泉歩道整備にあつては仙北市の負担金である。

### 除雪委託料に1億6,000万円

土木費は2億938万円でも多い補正予算である。内訳は冬期交通対策費が1億5,935万円。除雪の委託料が主である。道路台帳整備1,922万円、道路維持補修850万円、道路新設改良費は工事請負費6,580万円。河川費330万円、住宅管理費208万円等である。

消防費は214万円で、内訳は施設費、水防費、災害対策費の委託料、工事請負費、出勤費等である。

教育費2,257万円の補正は小学校費949万円、中学校費1,229万円、社会教育費78万円である。小学校費では理科教育設備事業に931万円。中学校費も同様の事業費681万円と生徒派遣費補助金412万円等である。

災害復旧費2,409万円の補正は、河川公園



復旧費に604万円、7月豪雨による農業用施設復旧費に250万円、公共土木施設復旧に980万円が措置された。関連の工事請負費は1,299万円である。

### 決算認定—一般会計は4億678万円の黒字

■平成20年度の一般会計決算は歳入総額190億8,440万円、歳出総額186億7,762万円で、差引残額4億678万5千円の黒字決算となった。歳入歳出差引残額のうち、翌年度に繰り越すべき財源は1億151万9千円で、実質収支

またも被害があった桧木内川河川公園



緊急雇用対策室

額は3億526万6千円の黒字。これ等決算の審査は、休会中に特別委員会等で審査し、12月定例会に審査結果が報告され、決算認定の可否を決する。

■平成20年度病院事業決算は、田沢湖病院が1億8,623万円の赤字決算、角館病院が2億118万円の赤字決算となった。経費節減など経営合理化に努めたにも関わらず、赤字決算となった田沢湖病院。また医師の退職や休職に泣かされた角館病院。いずれも国の医療費抑制政策の下、厳しい経営状況になっている。

■審査内容は11ページ

をご覧ください。

■21年度特別会計補正予算は、「下水道事業」が浄化センター管理費に30万円の追加、「集落排水事業」は、仙北市西木町西明寺クリーンセンター管理費60万円。「浄化槽事業」468万円が措置され、7人槽4基の整備事業費である。

「国民健康保険」の補正額330万円は、介護納付金の財源振り替えである。「老人保健医療特別会計」は2,770万円の補正額で、償還金利

子及び割引料の措置である。「介護保険特別会計」の補正は、168万円でしき園、田沢湖デイサービスセンターの管理費に充てる。

「生保内財産区」の補正予算額258万円は、造林作業道整備などの費用である。

「簡易水道事業特別会計」は261万円の補正で鈴木内小波内浄水場の工事請負費である。「病院事業会計」の補正は1,820万円で、材

料費と賃借料である。

### 田沢湖給食センターに「洗浄システム導入」

■議案105号 物品購入契約議決案件が議会に付された。システム契約額2,070万円、消費税103万5,000円の合計2,173万5,000円である。契約の相手方は、日本調理機株式会社東北支店秋田営業所である。

■ごみ処理施設大規模改修を追加提案！

## 議案質疑

### 補正予算の質問は教育費

議案質疑はあらかじめ質問通告書を提出しなければ質問できない。今回はただ一人が通告した。

一般会計補正予算、病院事業会計補正予算、平成20年度病院会計決算と水道事業会計決算につい

て質問した。

一般会計補正予算の旧西長野小学校と東小学校の備品（イス、楽器、オルガン、ピアノ）等の取り扱いや税金の誤徴収の有無。角館保育園の職員の配置等について質問した。

■答弁は「イス等は処分」「楽器11点は角館小学校で利用」「オルガン・ピアノも活用を検討中」。「税金の誤徴収はな

い。「角館保育園の職員配置は配置基準に沿っている」と答弁した。

病院事業会計補正予算の質問では、債務負担行為による大腸がん内視鏡のリース代についてまた平成20年度の病院事業決算では、角館病院の医師体制における夜間の救急対応を問い質した。

■答弁は「今春から開業医や診療所医の支援を得て、月一回日曜日

の日の救急対応を始めています。今後夜間対応もお願いしたい」と答えた。

また田沢湖病院の「一時借入れ」の資金繰りについての質問では、「資金繰りは一時借入れに頼るしかない」と答弁。「建設費の償還も財源は一時借入金で対処するしかない」と事務長は答えた。

最終日に環境保全センターのごみ処理施設大規模改修請負契約が提案された。

契約額は1億8,375万円で、契約の相手方は（株）IHI環境エンジニアリング。契約方法は「またも随意契約である。理由は既存設備の構造、機能、性能に精通したプラントメーカーに一体的に請負わせる必要がある」ということである。これでは随意契約締結の法的根拠にならず、競争性は確保されない。

